

M-GTA研究会

第2回 修士論文発表会

趣旨：①現在M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）を活用して修士論文にとりかかっている修士課程生の構想発表――スーパーバイザーやフロアとのやり取りを通じ、研究の洗練を促す。② M-GTAを活用して修士論文を書き上げた学位取得者の成果発表――領域的知見と方法論的な苦労や工夫について発表してもらい、後学の参考とする。本発表会は、参加者をM-GTA研究会の会員に限定せず、ある程度の公開性をもたせる。

日時：2009年9月19日（土） 10：00～18：00

会場：東京大学 本郷キャンパス 法文2号館2階 2番大教室

スーパーバイザー：阿部正子（筑波大学）、小倉啓子（ヤマザキ動物看護短期大学）、佐川佳南枝（立教大学）、納富史恵（久留米大学）、林葉子（お茶の水女子大学）、山崎浩司（東京大学・司会）

プログラム：

10：00～10：10 開会の挨拶・趣旨説明

10：10～11：10 構想発表1

松永恵（茨城大学）「不定愁訴のある児童生徒への養護教諭の対応について」

11：20～12：20 構想発表2

家吉望み（茨城県立医療大学）「ドメスティック・バイオレンス被害者支援に関わる看護者の経験」

13：30～14：30 成果発表

田中梢（日本女子大学修了）「大学における子育て支援グループ参加を通しての母親の育児観変容プロセス」

14：40～15：40 構想発表3

安原千賀（聖学院大学）「高次脳機能障害をもつ人の『自己決定』を可能とする支援者とのかかわり形成プロセス」

15：50～16：50 構想発表4

井澗知美（中央大学）「発達障害児をもつ親へのペアレントトレーニングプログラムの実践～親の行動および認識の変容プロセス」

17：00～17：50 6人のスーパーバイザーとフロアとの質疑応答

17：50～18：00 閉会の挨拶

申込：非会員はメールで9月10日〆切：modifiedgta@gmail.com、会員はウェブで9月15日〆切：<http://www2.rikkyo.ac.jp/web/MGTA/index.html>